



平成30年度 当初予算・組織の概要

平成30年 2月 2日

「真に選ばれるまち」を目指して

基本理念

元気共奏・飛躍ふじえだ

～元気つながる、笑顔ひろがる。～

重点方針

- ◆ 「人口対策」の抜本的かつ総合的取組
- ◆ まち、都市としての「魅力、ブランド力」の向上
- ◆ 「4K重点施策(健康、教育、環境、危機管理)」の再構築

重点戦略

- I コンパクト＋ネットワークで創る健康都市
- II 産業としごとを創る健康都市
- III ひとの流れを創る健康都市
- IV 出会いとこどもの未来を創る健康都市

1. 当初予算・組織の概要



平成30年度予算の特徴

★1 過去最大の積極型予算を編成！

508億8,000万円 (5)いっそう(0)おおきく(88)はばたく藤枝

★2 市債残高大幅縮減！H20比 301.5億円の減！ 臨財債等を除く市債残高を 500億円以下 に！

全会計市債残高 H20 1,033.5億円 ⇒ H30 732.0億円
臨時財政対策債等を除く全会計市債残高 H30 499.8億円

★3 基金残高を確保！H20比 30.1億円の増！

全保有基金残高 H20 113.8億円 ⇒ H30 143.9億円
財政調整基金残高 H20 32.3億円 ⇒ H30 52.1億円



(1) 予算の規模

全会計でも過去最大!

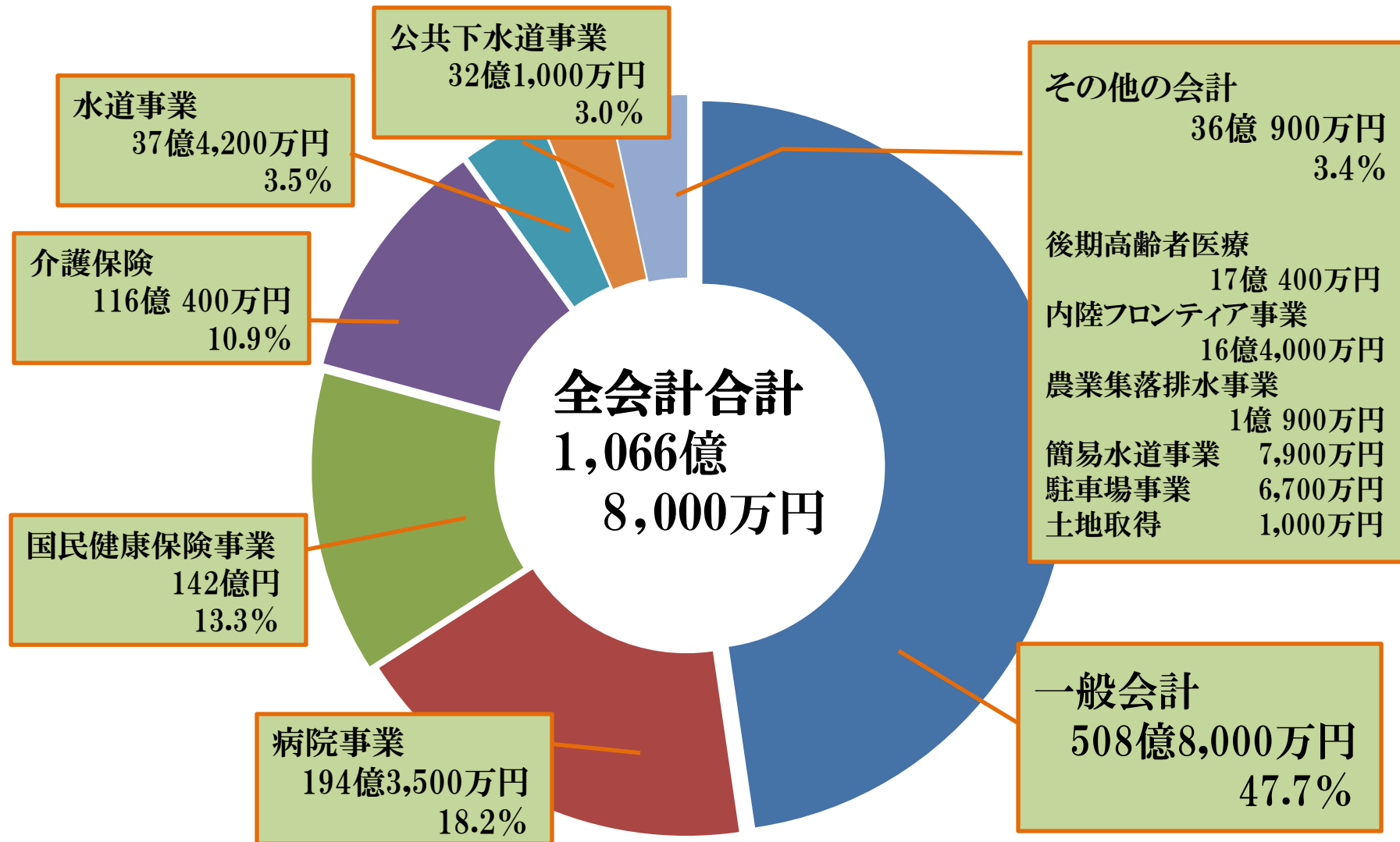
○ 全会計

(単位：百万円)

区 分	H30当初	H29当初	増 減	伸 率
一般会計	50,880	50,080	+ 800	+ 1.6%
特別会計	32,623	33,758	△ 1,135	△ 3.4%
企業会計	23,177	22,302	+ 875	+ 3.9%
合 計	106,680	106,140	+ 540	+ 0.5%



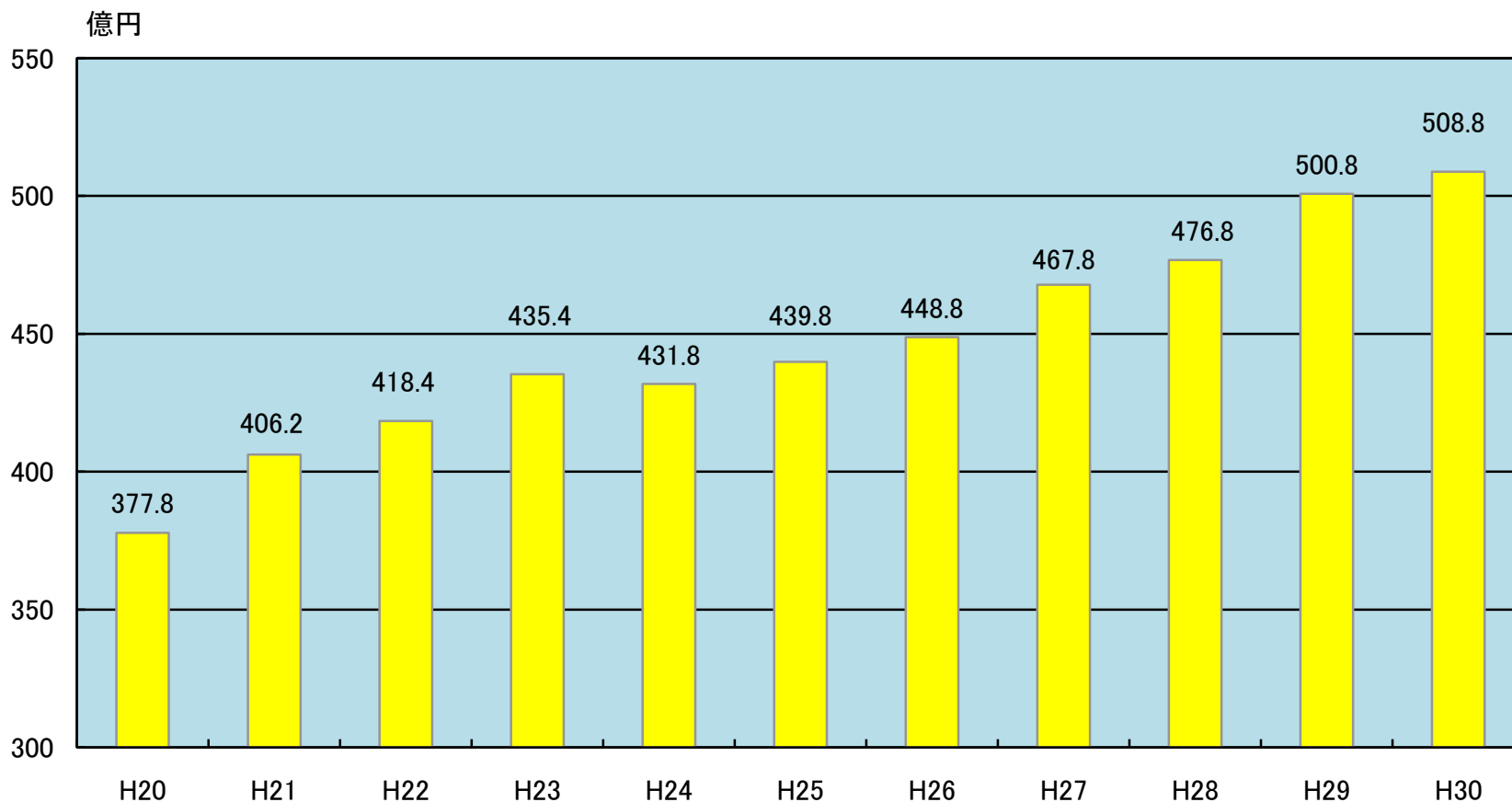
平成30年度 会計別予算構成



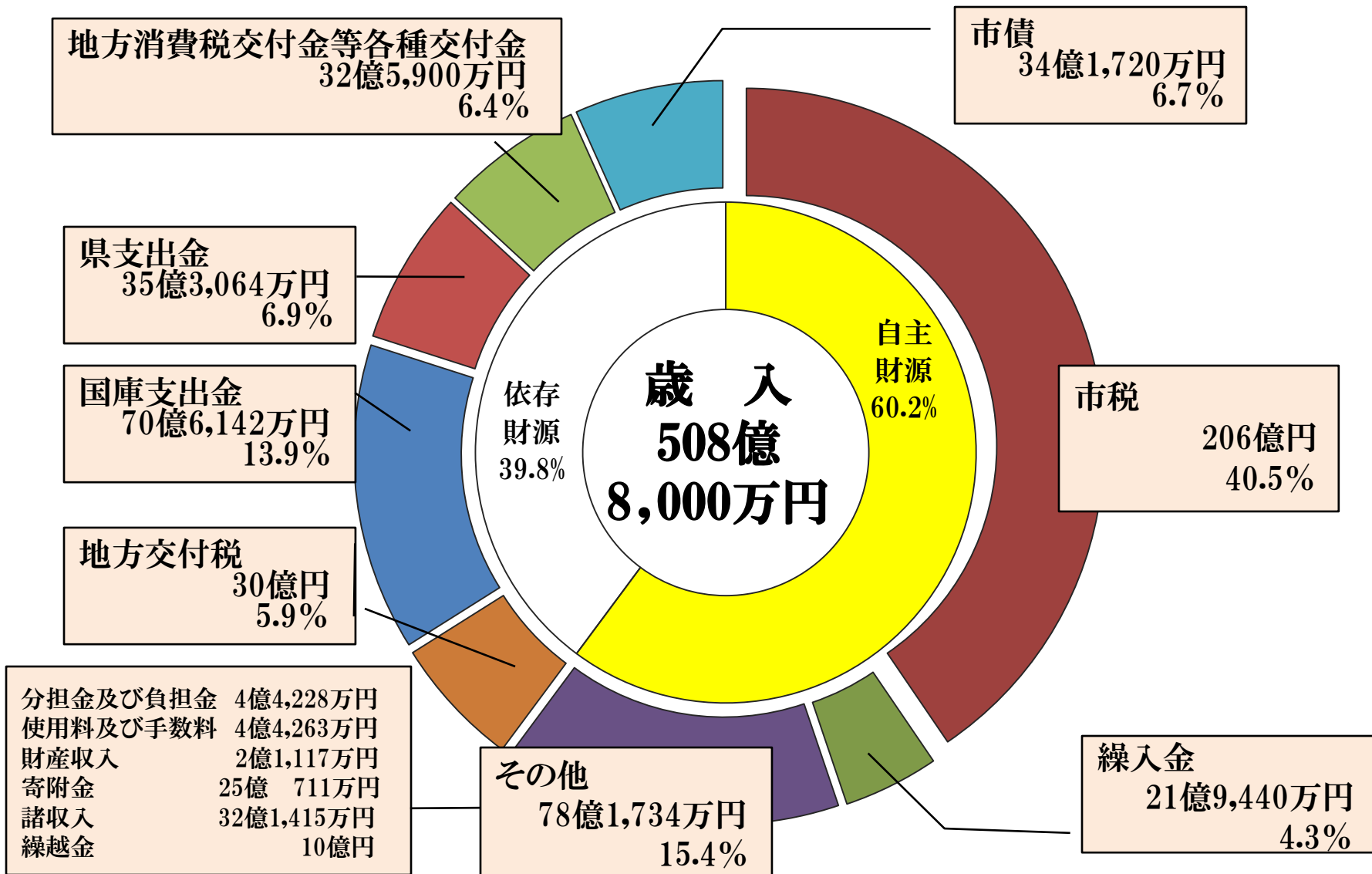
(2) 一般会計予算額の推移

様々な分野でのさらなる前進と新たな礎を築くための積極型予算

前年度より 8億円増額！



(3) 平成30年度 一般会計歳入予算内訳



主な歳入予算の増減要因

※ 増減は対前年度当初予算比較

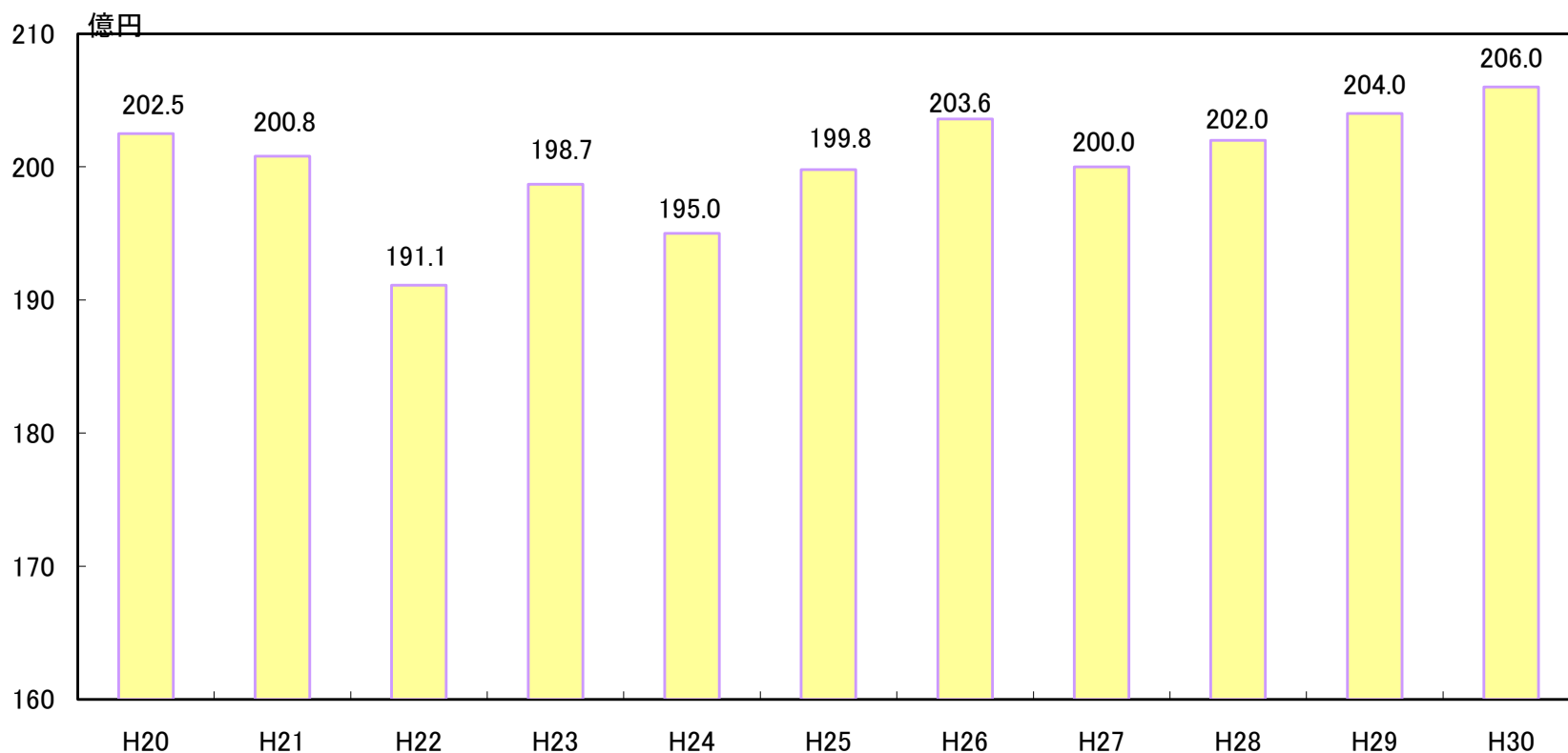
市 税	206億円	+ 2億円	+ 1.0%
	法人及び個人市民税の増、評価替えに伴う固定資産税の減		
地方交付税	30億円	▲ 6,000万円	▲ 2.0%
	国の地方財政計画（▲2.0%）相当分の減		
地方消費税交付金等 各種交付金	32億5,900万円	+ 3億3,600万円	+ 11.5%
	地方消費税交付金の配分割合見直しによる増		
国庫支出金	70億6,142万円	+ 4億6,682万円	+ 7.1%
	保育給付費負担金等の民生費負担金、補助金の増 防災・社会資本整備総合交付金の増		
県支出金	35億3,064万円	+ 1億7,217万円	+ 5.1%
	光ファイバ網整備事業費補助金、産地パワーアップ事業費補助金の増		
繰 入 金	21億9,440万円	+ 1,940万円	+ 0.9%
	未来を創るふるさと応援基金繰入金の増、財政調整基金繰入金の減		
市 債	34億1,720万円	▲ 5億2,600万円	▲ 13.3%
	斎場建設事業負担の減、臨時財政対策債の減（地財計画▲1.5%）		



(4) 市税の推移

※ 増減は対前年度当初予算比較

市税合計	(当初予算額)	(対前年度増減)	(増減率)
	206億円	+ 2億円	+ 1.0%



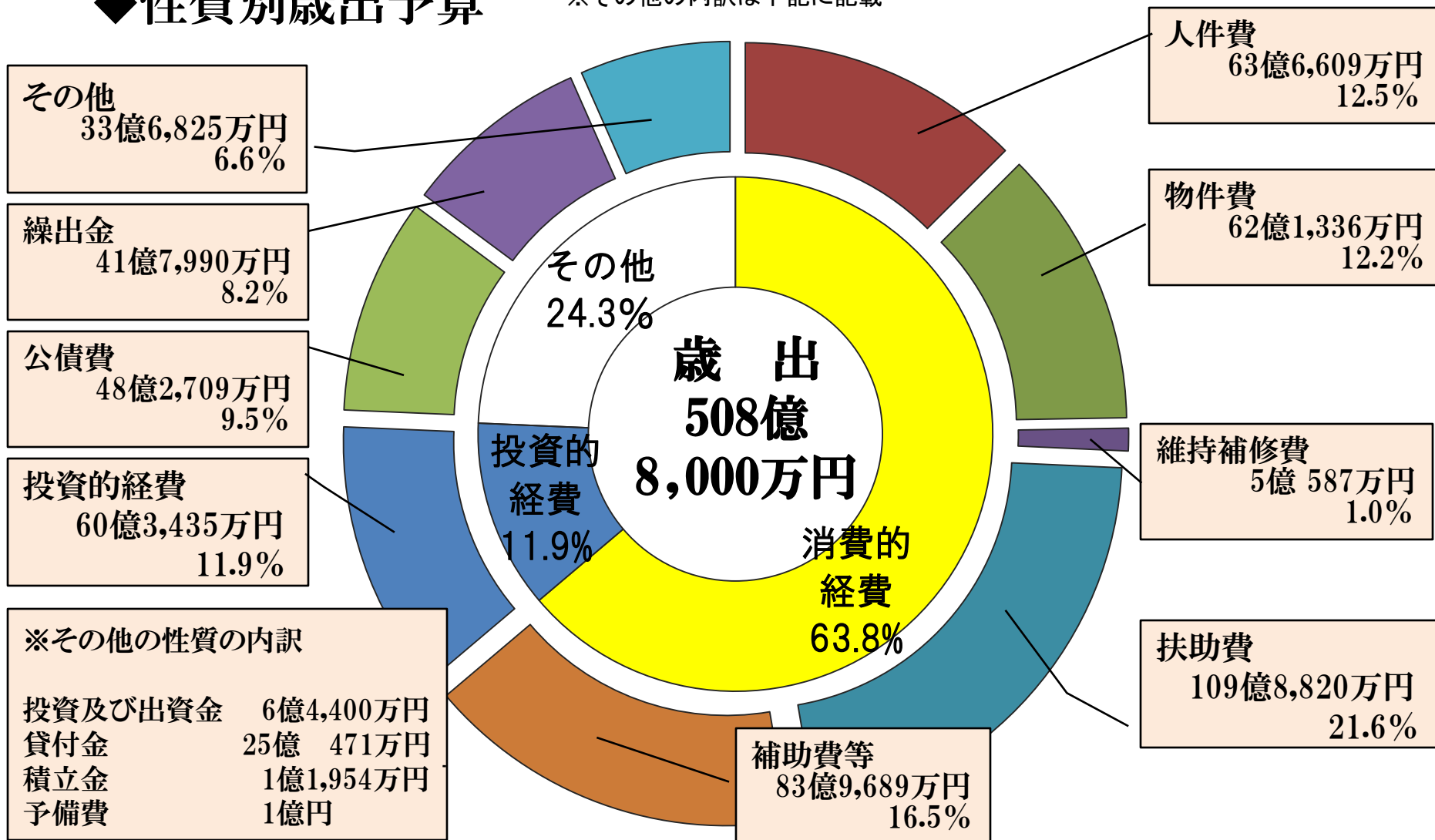
※ 平成20年度は岡部町との合算



(5) 平成30年度 一般会計歳出予算の状況

◆性質別歳出予算

※その他の内訳は下記に記載



主な歳出予算の増減要因

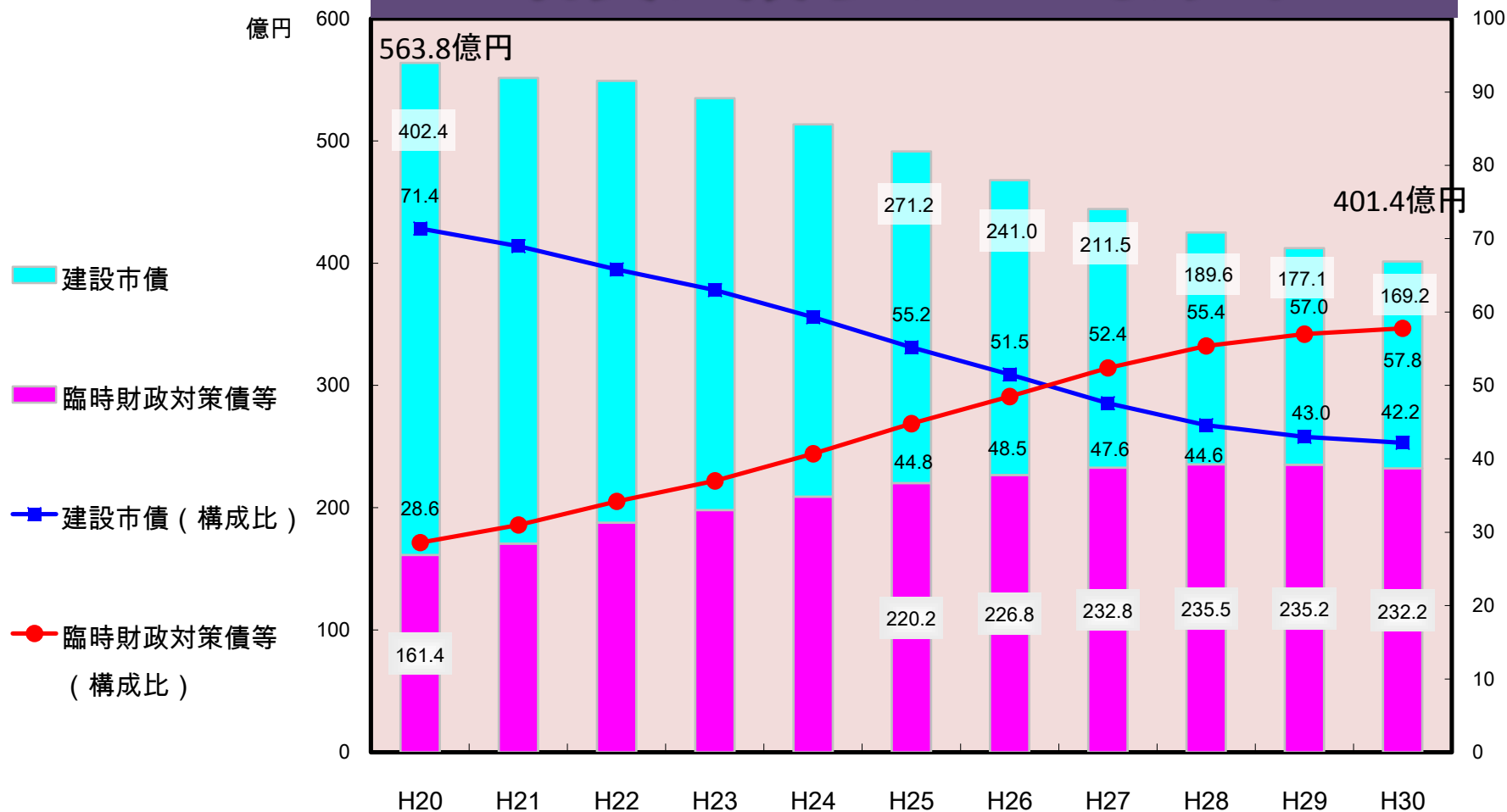
※ 増減は対前年度当初予算比較

人件費	63億6,609万円	+ 3億2,961万円	+ 5.5%
	退職者の増加に伴う退職手当の増		
物件費	62億1,336万円	+ 2億6,769万円	+ 4.5%
	学校ICT環境整備事業費の増、医療救護体制強化事業費の増		
扶助費	109億8,820万円	+ 10億8,066万円	+ 10.9%
	保育給付費、自立訓練等給付費、生活保護費の増		
補助費等	83億9,689万円	▲ 2億4,757万円	▲ 2.9%
	志太広域事務組合負担金の減、子育てファミリー移住定住促進事業費の増		
投資的経費	60億3,435万円	+ 2億8,462万円	+ 5.0%
	三輪立花線（横内）、水守中央公園の整備事業費の増 施設アセットマネジメント計画推進事業費の増		
繰出金	41億7,990万円	▲ 6億9,391万円	▲ 14.2%
	国民健康保険事業、公共下水道事業特別会計繰出金の減		
公債費	48億2,709万円	▲ 2億9,545万円	▲ 5.8%
	元利償還金の減		



(6) 一般会計市債残高の推移

着実に減らしています！



臨時財政対策債＝国が償還金を全額負担（＝実質的な地方交付税）



各会計別の市債残高の推移

経費節減に努め、新規借入を抑制

⇒ 臨時財政対策債等を除く全会計合計で

372.3億円削減 の見込 (平成20年度比)

(単位：億円)

	20年度末 (決算)	25年度末 (決算)	26年度末 (決算)	27年度末 (決算)	28年度末 (決算)	29年度末 (見込)	30年度末 (見込)
一般会計	563.8	491.4	467.9	444.2	425.1	412.3	401.4
特別会計	228.6	212.1	208.3	202.9	198.8	192.3	184.9
企業会計	241.1	189.1	190.3	180.6	167.5	156.0	145.7
合計	1,033.5	892.6	866.5	827.7	791.4	760.6	732.0
臨財債等 を除く	872.1	672.4	639.6	594.9	555.9	525.4	499.8

※繰越事業に係る市債を含まない



(7) 新たな基金を活用した財政運営

(単位:億円)

	H20 年度末 (決算)	H25 年度末 (決算)	H26 年度末 (決算)	H27 年度末 (決算)	H28 年度末 (決算)	H29 年度末 (見込)	H30 年度末 (見込)
財政調整基金	32.3	68.3	79.7	83.8	96.4	62.7	52.1
公共施設等総合管理基金	—	—	—	—	7.0	7.0	7.0
未来を創るふるさと応援基金	—	—	—	—	9.3	22.3	21.1
内陸フロンティア事業基金	—	—	—	—	—	27.7	14.7
合計	<u>32.3</u>	68.3	79.7	83.8	112.7	<u>119.7</u>	<u>94.9</u> 以上

事業目的に合わせて基金を積み立て、必要な財源を確保！

平成20年度末から
平成29年度末まで

87.4億円を積立(見込)

約 3.7倍



(8) 各種指標の推計

市債残高の縮減により 健全化判断比率は**着実に改善!**

項目	H20 (決算)	H29 (当初)	H30 (当初)	H20との 比較	H29との 比較	備考
実質公債費比率	15.7	10.9	10.7	▲5.0	▲0.2	健全な状態! (25%以上は早期健全化が必要)
将来負担比率	113.6	27.6	10.8	▲102.8	▲16.8	着実に改善! (350以上は早期健全化が必要)
経常収支比率	88.9	89.3	89.2	▲0.3	▲0.1	市町村の全国平均 (92.5) よりGood!

○実質公債費比率・・・借入金の返済にかかる負担の重さを示す指標で、市のすべての会計と一部事務組合（志太広域事務組合など）が対象となる

○将来負担比率・・・市のすべての会計の借入金や将来払っていく可能性のある負担など、現時点での残高を指標化し、財政への圧迫度を表す

○経常収支比率・・・自治体の財政構造の弾力性を表す比率。扶助費、繰出金等の経常経費に市税等の一般財源がどの程度充当されているかを見るもの。



平成30年度 組織・職員定数に関する方針

行政組織編成方針

「真に選ばれるまち」の実現へ、
“機動性と実効性”をさらに向上、“生産性の高い組織”へ転換

★1 より前進した健康施策展開へ、健康施策の企画力・実行力強化に向け、健やか推進局を再編

「健康企画課」、「健康推進課」 ◎国保年金課は健康福祉部直轄へ

★2 市民の安全・安心の確実な確保へ、大規模災害への備えと地域における防災体制の強化に向け、危機管理課を再編

「大規模災害対策課」、「地域防災課」

★3 公共施設マネジメントの強化へ、資産の経営管理や更新の一元的な推進に向け、管財課を「資産管理課」に改編

「アセットマネジメント係」「施設営繕係」



主な組織改編内容

部・局	課・室	係・担当等	狙い	
総務部	危機管理センター	大規模災害対策課【再編】	危機政策担当【改称】 原子力対策担当	原子力災害も含めた大規模災害への実効性のある総合的対策を強化
		地域防災課【再編】	危機対策係【改編】	災害に備えた自主防災等のさらなる強化
企画創生部	広報課	広報戦略担当【新設】	市の情報を戦略的に企画・プロデュース・発信し、より効果的なシティ・プロモーションを推進	
財政経営部	資産管理課【改編】	アセットマネジメント係【改編】 施設営繕係【改編】	資産の管理・活用を推進するとともに、施設の更新・改修をワンストップで行い、施設マネジメントを強化、効率化	
市民文化部	協働政策課	葉梨地区交流センター建設担当【新設】	地区住民の生活を支える活動、交流、コミュニティ拠点づくりを推進	
	市民課	戸籍・マイナンバー担当【新設】	専門性を高め、マイナンバーの戸籍や住基ネット連携を着実に推進	
スポーツ・文化局	サッカーのまち推進課	高校総体担当【新設】	全国高校総体女子サッカー競技会の着実な開催・運営とともに、これを契機に人材育成やプロモーション等“サッカーのまち”づくりを推進	



主な組織改編内容

部・局	課・室	係・担当	狙い
健康福祉部	福祉政策課	事業所指導係【新設】	法人監査、事業所指導体制を集約・強化し、事業の適正化や介護費用等の効率化、事業者の育成により、福祉サービスを充実
	自立支援課	障害者総合支援係【再編】 障害者福祉係【再編】	「施策の企画・推進」「窓口での市民対応」と、ミッションを明確にした対応を行い、障害者対策を総合的かつ一体的に推進
	国保年金課【再編】		広域化への着実な移行を推進
健やか推進局【再編】	健康企画課		健康・予防施策の企画立案・事業推進力を強化
	健康推進課		
都市建設部			
基盤整備局	建設管理課	建設調整係【改称】	建設事業に係る企画・調整機能の強化



平成30年度 職員数の状況

【平成30年度以降の年度別 予定職員数】

○平成30年4月1日現在の職員数は、739人を予定

(単位:人)

年度	平21	平22	平28	平29	平30	平31	平32
職員数	752	742	719	720	739	739	739

※各年4月1日、平30以降は見込

○職員配置を伴う主な施策等について

- ・災害・危機事案対策の強化(大規模災害対策課・地域防災課の創設による機動性確保)
- ・広報戦略担当を配置し、戦略的な情報発信を推進
- ・総合的なICT活用の推進
- ・オリンピック・パラリンピック関連事業の推進
- ・全国高校総体女子サッカー競技会の開催
- ・公園整備、ふじえだ花回廊事業の一元的な推進
- ・道路整備事業の推進
- ・資産の経営管理と公共施設更新・改修の一元的な推進

2. 重点戦略事業・組織



1 コンパクト^{プラス}＋ネットワークで創る健康都市

多彩な魅力を放つ拠点を創る

■ 藤枝の新たな拠点づくりの推進

【新規】戦略的土地利用推進事業費 1,000万円

定住、産業集積を加速させるため、将来に向けた
基盤づくりへ重点地区の土地利用構想を策定

- 重点地区 **中心市街地周辺(水上地区)**
スマートIC周辺(善左衛門地区)



【新規】中心市街地活性化事業費 820万円

社会資本整備総合交付金〔国庫補助1/3〕

今後の中心市街地の方向性を示すための計画の見直し

- ・市街地総合再生基本計画の見直し
(駅前一丁目6街区、文化センター街区の推進)
- ・中心市街地活性化基本計画フォローアップ



駅前一丁目6街区イメージ図



■ 交流拠点づくりの推進

【推進】蓮華寺池公園の整備

2億円

社会資本整備総合交付金〔国庫補助5/10・1/3〕

第1駐車場再整備、イベント広場整備

南側入口広場周辺測量設計 など

- ・整備期間：平成29年度～平成33年度
- ・総事業費：10億円



市民の憩いの場 蓮華寺池公園

【推進】葉梨地区交流センターの整備

4,880万円

葉梨地区交流センターの再整備に向けた
建物基本・実施設計などを実施

- ・場所：上藪田地内
- ・整備期間：平成29年度～平成32年度
- ・内容：建設予定地の地質調査
造成工事調査・測量・設計
建設工事基本・実施設計
- ・予定地：約6,000m²



葉梨地区交流センター建設予定地



拠点同士をつなげるネットワークを創る

■快適な道路ネットワークづくり

【推進】主要幹線道路の整備

社会資本整備総合交付金〔国庫補助5.5/10・5/10〕

- ・三輪立花線(横内)：橋梁上部工、道路築造工 L=200m
- ・仮宿高田線：函渠工 L=47m、用地買収 A=5,748㎡
補償費

8億9,800万円



三輪立花線完成イメージ図

【新規】天王町仮宿線(潮)道路整備事業費

社会資本整備総合交付金〔国庫補助5/10〕

藤枝バイパス4車線化に合わせた道路整備

- ・平成30年度 道路詳細設計、国との協議

3,200万円



天王町仮宿線(潮)



品格と潤いのある都市空間を創る

■憩いの公園づくり

【推進】水守地区内都市公園整備事業費

社会資本整備総合交付金〔国庫補助5/10〕

水守中央公園 A=1.1ha 平成31年4月供用開始

- ・敷地造成工 ・植栽工 ・園路広場整備工
- ・管理施設整備工 ・遊具設置工

1億5,500万円



水守中央公園イメージ図

【新規】岡出山公園再整備事業費

1,000万円

新たな都市型拠点として人の行き交う公園整備

- ・基本設計
- ・紫陽花植栽、階段フィットネスの設置、施設改修 など



岡出山公園入口

【新規】南部地区公園整備事業費

600万円

高洲地区に公園を整備するための測量



■ 空き家対策

【拡充】空き家活用・流通促進事業費

2,100万円

空き家の利活用の促進

- ・空き家の購入・改修と移転費用に助成
- ・補助率: 1/2 上限額: 80万円
(子育てファミリー世帯は上限額: 100万円)



【推進】空き家バンク推進事業費

440万円

中山間地域の空き家の利活用による移住・定住の促進

- ・空き家の改修・移転費用に助成
- ・補助率: 1/2 上限額: 80万円
(子育てファミリー世帯は上限額: 100万円)



中山間地域の空き家への移住者



【新規】空き家解体・除却事業費
社会資本整備総合交付金〔国庫補助5/10〕

450万円

耐震性のない空き家の処分

- ・空き家の解体・除却費用に助成
- ・補助率:23% 上限額:30万円
- ・耐震性の劣る昭和56年5月31日以前に建築された住宅



【新規】空き家解体・除却後の固定資産税減免制度の創設

空き家の解体・除却の促進

- ・減免対象:空き家の解体・除却の助成を受けた住宅地
- ・減免期間:3年間
(助成決定日により認められた空き家の解体等を開始する日の翌年1月1日を賦課期日とする年度から)
- ・減免額:固定資産税の80%
- ・その他:都市計画税も固定資産税に準じる



“環境日本一”のまちを創る

■環境日本一に向けた新たな取り組み

【新規】クールチョイス推進事業費

520万円

二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金〔補助率10/10〕

クールチョイスの推進

- ・環境フェスタでクールチョイス宣言
- ・地球温暖化対策啓発動画によるプロモーション など

クールチョイスの促進

- ・エコファミリー宣言、環境マイレージ、アースキッズチャレンジ など



【新規】公共施設再生可能エネルギー設備等 導入推進事業費

1,700万円

エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金〔補助率10/10〕

UPZ区域内の自治体が設置する再生可能エネルギー
設備導入可能性調査

- ・調査施設：**小中学校等46施設**



安全・安心な災害に強いまちを創る

《組織》原子力災害も含めた大規模災害への実効性のある総合的対策とともに、災害に備えた自主防災等の更なる強化に向けた体制の再構築

- ・危機管理課を「大規模災害対策課」と「地域防災課」に再編

■大規模災害対策の強化

【新規】国土強靱化地域計画の策定

300万円

大規模災害に対し地域特性に応じた施策を総合的かつ計画的に推進

- ・リスクシナリオに対応した計画の策定



【新規】ドローン整備事業費〔県費補助1/2・1/3〕

600万円

災害時の情報収集を強化

- ・ドローン部隊編成
- ・ドローン2機購入

※平時の活用

- ・道路・河川管理、公共建築物の施設点検、各種調査
- ・広報PR動画の作成 など



【新規】医療救護体制強化事業費 [県費補助1/2・1/3]

3,000万円

主要救護所の新設(4ヶ所)による体制強化

- ・医師等医療従事者の配置数の充実
- ・外科用医療資機材(縫合器具、麻酔セット等)等の新規配備



【新規】災害時用ストマ装具備蓄制度の創設

ストマ装着者が大規模災害等で、自宅に保管しているストマ装具が使用不能となった場合の緊急措置として、**自宅以外の場所で備蓄**

- ・利用希望者がストマ装具を持参し、市に備蓄を依頼
- ・平成30年4月開始
- ・ゼロ予算で実施

県内初!!



【拡充】住宅・建築物耐震改修事業費

9,700万円

社会資本整備総合交付金〔国庫補助5/10～1/8〕

新たに木造住宅建替補助金を創設

・昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅建替に助成

・補助率:23% 上限額:80万円(除却 上限額:30万円)

専門家診断、住宅相談支援、補強計画・工事補助金も継続実施



【新規】農村地域防災減災事業費

210万円

農地防災事業等補助金〔県費補助10/10〕

三ツ池重点防災ため池のハザードマップ作成

・関係者への周知や防災訓練、防災学習に活用



三ツ池



■地域防災力の強化

【新規】消防団フェスタの開催〔県費補助1/3〕 200万円

消防団活動の啓発と団員確保のためのフェスタを開催

- ・分団活動ブースでの啓発、防災資機材の取扱い講習 など
- ・開催時期：平成30年10月
- ・開催場所：藤の瀬会館



女性消防団員による講習

【推進】消防団施設整備費 7,000万円

建築から30年以上経過した消防団詰所の改築を計画的に実施

- ・詰所改築工事：1分団2班（藤枝地区）
5分団4班（瀬戸谷地区）



消防団詰所

【推進】消防団車両購入費 3,600万円

消防団車両の更新を計画的に実施

- ・消防ポンプ自動車CD-1型更新：1分団2班（藤枝地区）
7分団2班（青島地区）



消防団車両



“交通安全日本一”のまちを創る

■交通安全日本一に向けた新たな取り組み

【拡充】交通安全日本一の推進

1,500万円

県内初!!

横断者感知式注意喚起システムIoT実証実験

- ・市内1ヶ所
 - 高校生を対象にICT交通安全教育を実施
 - ・VR(バーチャルリアリティ)を活用
 - 高齢者体験型交通安全講習
 - ・クイックキャッチ、クイックステップ
 - ・ドライブシミュレーター
- (あいおいニッセイ同和損害保険と連携) など



横断者感知式注意喚起システムイメージ図

【新規】通学路事故防止対策事業費

2,000万円

整備箇所: 小中学校周辺道路

- ・グリーンベルト、区画線、交差点カラー舗装 など



カラー舗装



【推進】ゾーン30交通安全施設整備事業費
社会資本整備総合交付金〔国庫補助5.5/10〕

900万円

- 藤枝警察署と連携し、速度制限(30Km/h)の
区域設定や路面表示等の交通安全施設整備
- ・実施箇所: **岡部町内谷地区**(岡部小学校周辺)



ゾーン30整備箇所

【新規】茶町大谷線(原)法面対策事業費
社会資本整備総合交付金〔国庫補助5.5/10〕

1,500万円

- 藤枝中央小学校の通学路の安全確保
- ・測量設計、地質調査
 - ・スケジュール:平成31年度～ 用地買収、工事



茶町大谷線法面



2 産業としごとを創る健康都市

力強い地域産業と人材、雇用を創る

■人材の育成、雇用の確保

【推進】ICT人材育成事業費

地方創生推進交付金〔国庫補助1/2〕

即戦力で活躍できるICT技能の習得機会の支援

○ ICTエキスパート講座

- ・高校・大学生・社会人を対象に実践的ICT教育を実施

年52回

400万円



エキスパート講座

【拡充】次世代人材育成事業費

地方創生推進交付金〔国庫補助1/2〕

科学・ICT・ロボット教育の支援

- ・小中学生を対象に民間事業者によるプログラミング教育
- ・小学生から大学生を対象に交流型ITキャンプを実施(新)

750万円



プログラミング教育



【推進】クラウドソーシング推進事業費

地方創生推進交付金〔国庫補助1/2〕

6,500万円

新たな働き方であるクラウドソーシングの活用を支援

- ・補助対象：クラウドソーシングシステムの運営
（ディレクター、ワーカーの育成）
中小企業の業務発注支援
業務相談・研修、ワーキングスペースの設置



ワーカーの説明会

【推進】高田地区工業団地整備事業費

〈内陸フロンティア事業特別会計〉

16億3,400万円

県企業局と締結した協定に基づく負担金

- ・協定額(32億6,630万円)の50%
- ・平成30年度事業内容
実施設計、用地買収、物件補償
- ・事業期間：平成29年度～平成33年度



内陸フロンティアパーク「藤枝たかた」イメージ図



■ 農業支援の強化

【新規】農地集積・集約化情報整備事業費 2,600万円

意欲ある担い手に農地を集積・集約していくためのデータ整備

- ・農地利用意向調査(3年で6地区)
- ・農地情報データ整備
(農地の賃借意向及び農用地情報取り込みによる農地台帳システム再構築 など)



【新規】農業次世代人材育成支援交付金 200万円

次世代につなげる新たな担い手に対する支援

- ・助成額:個人50万円/年 夫婦75万円/年(国庫の上乗せ)
- ・期間:就農から3年



【新規】農業次世代人材経営強化事業費補助金

1,000万円

次世代人材の施設・設備整備に対する支援

- ・補助対象:農業用ハウス、農業用施設・機械、圃場整備
- ・補助率:1/2 上限額:300万円



農業用機械



【新規】担い手等経営強化事業費補助金 3,700万円

意欲ある担い手の経営規模拡大に対する支援

- ・補助対象：農業用ハウス、農業用施設・機械、圃場整備
ICT等の活用による最先端技術
- ・補助率：1／4 上限額：5,000万円



農業用ハウス

【新規】藤枝有機茶レンジ支援事業費補助金 500万円

有機茶の海外輸出や有機茶栽培への転換に対する支援

- ・補助対象：有機JAS認定、残留農薬検査
- ・補助率：1／2 上限額：5万円
- ・補助対象：有機茶園への転換奨励金
- ・補助額：8万円／10a



有機茶園

【新規】産地パワーアップ事業費補助金 6,210万円

産地パワーアップ事業費補助金〔国庫補助10/10〕

国際競争力の強化に向けた高収益作物などへの転換に対する支援

- ・補助対象：てん茶製造ライン、被覆資材整備
- ・補助率：1／2



てん茶製造ライン



新たな産業、独自のビジネスを創る

■ 産学官連携の推進

【推進】広域連携商品開発事業費

980万円

地方創生推進交付金〔国庫補助1/2〕

恵庭市と連携し、互いの強みを活かした
広域的な農商工連携による**連携商品開発**

- ・連携商品開発に向けたマッチング交流会開催
- ・連携商品スタートアップ事業費補助金
- ・エコノミックガーデニング支援拠点推進業務委託



マッチング交流会

【推進】広域連携商品販路開拓事業費

350万円

地方創生推進交付金〔国庫補助1/2〕

恵庭市と連携し開発した**商品の販路開拓**

- ・販路開拓に向けた消費者ニーズ調査
- ・大正大学との連携による巣鴨でのアンテナショップ
- ・インターネット販売に係るシステム構築



恵庭市の南瓜を使用したライスコロケ



【新規】産学官情報ビジネス推進事業費

2,150万円

地方創生推進交付金〔国庫補助1/2〕

地域産業の活性化と若者の定着、食を活かしたまちづくり等の推進

- ・地元企業と学生の交流マッチング
- ・ビジネスアクティブラーニング事業（体験学習）
- ・ビジネスまちづくりセミナーの開催 年10回
- ・食育セミナーの開催 年6回
- ・地産地消メニューの開発
- ・産学官映像コンテンツの作成及びプロモーション



学生と企業のマッチング

【拡充】空き店舗等開業支援事業費

600万円

空き店舗等を活用して開業する事業者に
店舗改装費用を支援

- ・補助対象：店舗改装費
（補助対象空き店舗に商業施設の空き
区画、営業店舗の空きスペースを追加）
- ・補助率：1/2 上限額：50万円



空き店舗改装支援



ICT活用で人の流れを呼び込むまちを創る

■ ICT活用の推進

【拡充】IoTの更なる活用

700万円

IoTを活用し高齢者の見守りや鳥獣害対策などを実施

- ・高齢者見守りサービス実証実験
- ・小1児童登下校お知らせサービス実証実験
(継続して新1年生を対象に実施)
- ・鳥獣害対策(捕獲検知ソリューションの拡大実証)



鳥獣害対策

【新規】中小企業振興推進プログラム事業費 地方創生推進交付金〔国庫補助1/2〕

3,500万円

地元産業のICT導入を支援

- ・ICT導入啓発セミナー 年1回
- ・企業の部門別・業種別導入促進講座 年10回
- ・(仮称)藤枝テクノフェア2018 年2回
- ・ICT導入支援コンサルティング など



ビジネスマッチング



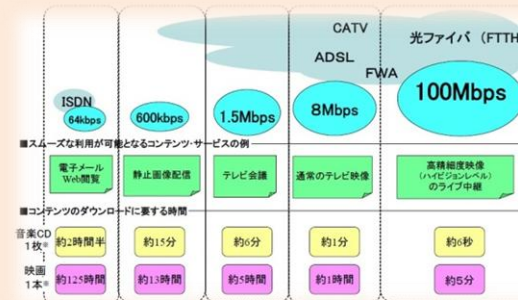
【新規】中山間地域光ファイバ網整備費補助金

1億5,000万円

光ファイバ網整備事業費補助金〔県費補助1/2〕

瀬戸谷、朝比奈地区に光ファイバ網を整備する事業者への支援

- ・補助率: 1/2
- ・市内全域で高速通信が可能



光ファイバイメージ図

【拡充】産業祭事業費補助金

470万円

地元企業、伝統工芸産業による製品の展示、PRのほか、新たにICT関連の展示等を実施

- ・ICT等活用促進企画
(ロボットに触れる、ロボット展示)
- ・開催時期: 平成30年10月
- ・開催場所: 県武道館、BiViキャン



前回の産業祭



多様な人材の活躍の場を創る

■活躍の場の創出

【新規】産学官情報ビジネス推進事業費 500万円

地方創生推進交付金〔国庫補助1/2〕

起業・創業や空き店舗等を活用した街なかへの**ビジネス展開**
の支援

- ・補助対象経費：トライアルスペース(kokokara)運営事業
街なかストックリノベーション事業



kokokara

【拡充】地域おこし協力隊活動事業費

2,120万円

新たな担い手による地域協力活動の拡大(3人→5人)

○地域おこし協力隊員 5人(新隊員4人) 任期:3年

- ・朝比奈玉露の強化(H30. 7～新隊員)
- ・商店街の活性化(H30. 7～新隊員)
- ・中山間地域の活性化(H27. 9～H30.8)(H30. 4～新隊員)
- ・観光の振興(H27. 9～H30.8)(H30. 7～新隊員)
- ・女子サッカーの普及・選手育成(H28. 8～H31. 7)



協力隊の活動状況



将来に向け市役所の基盤を創る

■ 将来を見据えた政策・施策の推進

《組織》公共施設マネジメントに基づき、資産の経営管理や更新を一体的かつ一元的に進める体制の構築

- ・管財課を「資産管理課」に改編

【新規】施設マネジメント計画推進事業費 8億3,800万円

施設マネジメント計画に基づき**公共施設の長寿命化**を実施

- ・岡部支所（自家発電設備、屋根防水・外壁改修等）
- ・生涯学習センター（照明LED化、空調設備改修等） など



岡部支所

【新規】働き方・人づくり改革推進事業費 380万円

働きやすい職場環境の創出と意識改革で新公共経営を推進

- ・セレクトタイム、テレワークの試行（多様な働き方の選択）
- ・「イクボス」セミナー（働き方への意識改革）
- ・タイムマネジメント、メンタルヘルス研修 など



フジエンヌとの意見交換会



3 ひとの流れを創る健康都市

持続的な移住・定住の流れを創る

■移住・定住促進の充実

【拡充】子育てファミリー移住定住促進事業費

1億3,900万円

市内に居住を希望する子育て世代に対し住宅取得の支援

- ・市内の中学生以下の子を持つ者に対する新築費用助成(新規)
- ・市外の中学生以下の子を持つ者に対する新築費用助成
- ・市外の中学生以下の子を持つ者に対する移転費用助成

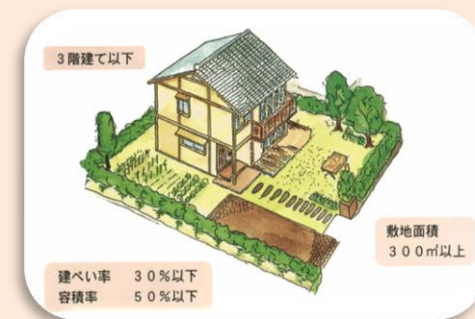
上限額: 30万円
上限額: 50万円
上限額: 50万円

【推進】優良田園住宅移住促進事業費補助金

1,500万円

優良田園住宅への移住の促進

- ・優良田園住宅の建築・購入と移転費用に助成
- ・補助率: 1/2 上限額: 100万円
(子育てファミリー世帯は上限額: 150万円)



【再掲】空き家バンク推進事業費

440万円



【新規】借上型公営住宅整備事業費

1,520万円

社会資本整備総合交付金〔国庫補助5/10〕

民間事業者が建設する借上型公営住宅の建設費に対する支援

- ・建設場所：藤枝中学校区又は市役所から半径2kmの範囲の市街化区域
- ・補助率：補助対象整備費の2/3又は建設費の1/10



借上型公営住宅

【新規】合併10周年記念式典開催経費

100万円

平成21年1月1日に旧岡部町と合併し10年を迎えるにあたり記念式典を開催

- ・日時：平成30年11月
- ・場所：市民ホールおかべ
「東海道岡部宿にぎわいまつり」と同時開催



合併記念式典



広域連携で地域全体に人の流れを創る

■広域連携の推進

【新規】しずおか中部地域連携DMO事業 500万円
地方創生推進交付金〔国庫補助1/2〕

中部地域広域連携による観光まちづくりプロジェクト

- ・圏域全体での情報発信
- ・個別資源プロモーション(お茶、大久保キャンプ場等)
- ・学びと観光を一体化した旅行商品の開発 など



大久保キャンプ場

【推進】しずおか中部連携中枢都市圏事業

「連携中枢都市圏構想」制度を活用した5市2町連携事業

○藤枝市事業 2,650万円

- ・街道文化発信事業
(宿場イベント、プロモーション等を連携して実施)
- ・大学連携事業(大学と地域課題解決に向けたセミナー等を実施)
- ・賑わい創出事業
(イルミネーション等を含む賑わい創出イベントの実施)



岡部宿にぎわいまつり



“藤枝の宝”を活かしたまちを創る

■ 藤枝の宝を全国に発信

【新規】全国玉露のうまい淹れ方コンテスト開催事業費

300万円

第13回全国玉露のうまい淹れ方コンテストの開催

- ・三大玉露飲み比べ、玉露の手揉み実演 など
- ・開催時期：平成31年3月



全国大会決勝戦

【新規】朝比奈大龍勢の関連経費

650万円

○朝比奈大龍勢イベント事業費補助金

- ・開催時期：平成30年10月 ・開催場所：岡部町殿地区

○全国龍勢サミット開催経費

- ・全国6地区の保存会による映像紹介、他地区の龍勢打ち上げの実演 など
- ・開催時期：平成30年10月 ・開催場所：岡部町殿地区



大龍勢の打ち上げ



市民との協働・共創の輪を創る

■市民活動の輪を拡大

【新規】社会貢献活動支援事業費

75万円

市民活動団体、個人の育成支援

- ・買い物弱者サポート支援を行う市民ボランティアの育成
(高齢者向けの買い物代行支援・移動支援を行う
市民ボランティアの育成)



【新規】鳥獣被害対策実施隊事業費

270万円

鳥獣被害防止総合対策交付金〔国庫補助10/10〕

鳥獣被害対策実施隊の活動支援

- ・重点パトロール、地区研修会、地域活動支援
後継者育成 など



4 出会いとこどもの未来を創る健康都市

出会いと独自の子育て環境を創る

■子育て施設の充実

【推進】幼児教育・保育施設の整備

保育所等整備交付金〔国庫補助2/3〕ほか

5億円

- 私立保育所(新設) 1箇所
 - ・新定員:72人 場所:兵太夫
- 私立幼稚園の認定こども園移行 1箇所
 - ・新定員:114人 場所:堀之内
- 小規模保育所(新設) 2箇所
 - ・新定員:19人 場所:兵太夫 ほか



認定こども園
(幼稚園から認定こども園に移行)

【新規】企業主導型保育推進事業費補助金

750万円

- 民間事業所(新設) 新定員:15人 ほか
 - ・補助率:1/16 上限額:500万円



■子育て環境の充実

【新規】私立幼稚園2歳児保育推進事業費補助金

3,880万円

子ども・子育て支援交付金〔国庫補助1/3〕ほか

待機児童の解消を図るため私立幼稚園が実施する

2歳児預り保育事業を支援

・私立幼稚園6園 定員75人



【新規】民間保育所安心保育設備整備事業費補助金

666万円

保育対策総合支援事業費補助金〔国庫補助2/3〕

乳幼児の睡眠中の事故防止のための機器等の購入支援

・認可保育所等 46園 ・対象児:222人(0歳児)



【新規】保育環境向上事業費補助金

4,650万円

保育対策総合支援事業費補助金〔国庫補助6/7〕

保育補助者の雇用に対する支援

・認可保育所、認定こども園 18園



■ 少子化対策の充実

【拡充】こども医療助成費 [県費補助1/2~1/4]

5億5,700万円

子どもの疾病の早期治療による重症化予防及び
保護者の経済的負担の軽減

- ・0歳児～中学生の通院、入院の医療費を助成
- ・入院費の無料化を島田市と連携して実施



【拡充】特定不妊治療助成費

3,100万円

不妊治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減

○特定不妊治療

- ・助成対象:体外受精、顕微授精
- ・所得制限:夫婦の所得合計額730万円未満(妻の年齢43歳未満)
- ・助成費用:治療費の7割助成(上限額30万円[前年度10万円])



“教育日本一”のまちを創る

■ 授業環境の充実

【拡充】学校ICT環境整備事業費 未来を創るふるさと応援基金を活用

県内初!!

1億1,400万円

学校において「わかる授業」を実現し「確かな学力」を育てるためのICT環境を整備

- ・市内公立全小中学校(小1～中3)に導入
- ・タブレット端末、電子黒板・デジタル教科書 など



タブレットを使用した授業

【推進】小中一貫教育推進事業費 760万円

特色ある小中一貫教育の導入を市内全中学校区で段階的に実施

- ・実施校区: **大洲中学校区**
- ・地区協議会設立地区: 西益津、広幡、葉梨、
岡部中学校区



瀬戸谷小中一貫教育



【拡充】英語指導助手(ALT)の経費 3,052万円

JETプログラムによるALT(外国語指導助手)を増員し、
各中学校区へALTを配置

- ・14人→17人 (FCA1人、JET8人、地域ALT8人)
- ・平成32年度次期学習指導要領改訂を見据え
小学5、6年生の外国語活動(年間50時間)
小学3、4年生の外国語活動(年間15時間)の開始



複数のALTとの英語学習

【新規】特別支援教育強化事業費 326万円

特別な支援を要する子どもの増加に伴う特別支援教育体制の強化

- ・特別支援教育アドバイザーの設置(専門的見地からの学校・保護者等へのアドバイス等)

【新規】教員の働き方改革支援事業費 240万円 部活動指導員配置促進事業費補助金〔国県補助2/3〕

教員の多忙化解消に向け働き方の見直し及び部活指導員の導入

- ・部活指導員派遣事業(新) モデル校:高洲中学校
- ・音声メールユニットの導入
- ・夏季休業中の学校閉庁日の設定



部活指導



■教育環境整備に向けた取組

小学校トイレ洋式化の推進

小学校1年生用トイレの洋式化の実施(全体計画:15校83基)

○平成30年度改修工事(平成29年度2月補正) **2,800万円**

3校:葉梨小学校、藤岡小学校
青島北小学校

○平成31年度改修工事(平成30年度当初予算に

実施設計を計上) **350万円**

3校:藤枝小学校、岡部小学校、朝比奈第一小学校



平成30年度に全小学校1年生用トイレ整備が完了し、平成31年度以降は全学年の洋式化に向け着実に事業を推進！



“健康・予防日本一”のまちを創る

■健康・予防日本一に向けた新たな取り組み

《組織》生涯健康づくりや食と連動した健康習慣づくり、地域や企業総ぐるみの健康経営、健診・検診の促進など、守る健康、創る健康の機動性をさらに高め、“健康・予防日本一”を推進する体制の再構築

- ・「健康企画課」「健康推進課」 ◎国民年金課は健康福祉部直轄に再編

【新規】健康経営プロジェクト推進事業費

200万円

健康経営の視点を取り入れ企業から家庭まで包含する健康づくりをまるごと推進するロールモデルを構築

- ・健康経営プロジェクト支援
(企業や地域に専門家を派遣)
- ・健康マイレージWebシステム改修
- ・ウォーキングアプリ改修



カゴメとの連携協定



【新規】産婦健康診査費 1,100万円
母子保健衛生費補助金〔国費補助1/2〕

産後間もない時期の産婦の医療機関での健康診査の実施

- ・公費負担:2回／人
- ・実施内容:問診、診察、尿検査、体重・血圧測定、
産後うつ病質問票 など



【新規】産後ケア事業費 600万円
母子保健衛生費補助金〔国費補助1/2〕

産後に不調または育児不安等がある母子に対するケア

- ・実施内容:宿泊型(原則7日以内)、
デイサービス型、相談型



安定・安全で高度な医療体制を創る

■医療体制の充実

【新規】PFMの導入

PFMを病院運営に導入し、入院から退院まで患者と共に歩む病院を目指す

※PFMとは：患者の身体的・精神的・社会的リスクを入院前に把握し、入院前から各職種が連携して患者のマネジメントに取り組むこと



【拡充】医療機器の購入 <病院事業会計> 4億2,100万円

病院医療機器の更新

・超電導磁気共鳴断層撮影装置(MRI 1台) など



MRI



■国保、介護体制の充実

国民健康保険制度の広域化

県が財政運営の責任主体となって国保運営の中心的な役割を担い、制度の安定化を図ることで、事務の効率化、標準化、広域化を推進

○市の主な役割

- ・被保険者証等の発行 ・保険給付の決定 ・保健事業の実施
- ・県が算定する標準保険料率等を参考に保険税率を算定(平成30年度は改定なし)
- ・国保事業費納付金を県に納付

第7次ふじえだ介護・福祉ふらん21のスタート

「地域包括ケアシステムの深化・推進」と「介護保険制度の持続可能性の確保」を計画の柱とし、持続可能な高齢者施策を展開

○計画の基本方針

- ・在宅医療・介護連携の推進 ・認知症施策の推進 ・地域におけるケア体制の強化
- ・心豊かに生きようとする意欲あふれるアクティブシニアの活躍の推進
- ・持続性のある介護保険制度の運営

○計画の内容

- ・地域密着型サービス事業所の指定 ・介護保険料の改定 など



独自の“スポーツ・文化”を活かしたまちを創る

■東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み

【推進】東京オリンピック・パラリンピック合宿等誘致推進事業費 550万円

ホストタウン対象国である**イタリアのライフル射撃**
関係者への**事前合宿誘致**に向けた働きかけを実施

- ・ホストタウン対象国「イタリア」のキーパーソンの招聘
- ・中央競技団体等への説明や情報収集



イタリア格闘技連盟 事前キャンプ調印

【推進】スポーツ国際交流事業費 1,000万円

東京五輪に向けた**イタリア柔道チームの**
強化合宿等交流事業を実施

- ・柔道連盟(2回×2週間程度)8月、11月



イタリア柔道合宿



■ “蹴球都市” の発信

【推進】全国高等学校総合体育大会サッカー女子開催経費

610万円

平成30年度インターハイ女子サッカー(藤枝市会場)開催

- ・開催時期:平成30年7月31日～8月5日
- ・開催場所:総合運動公園、市民グラウンド ほか



■ 文化・芸術の振興

【新規】芸術文化活動支援費

300万円

現代美術を通じた芸術家、子どもたちの交流による担い手育成の機会の創出

- ・ワークショップ、展覧会、アーティストトークの開催
- ・開催時期:平成31年2月～3月
- ・開催場所:市民会館 ほか



ワークショップ

【新規】全国街道交流会議プレシンポジウム開催経費

120万円

全国街道交流会議しずおか大会プレシンポジウムを開催し、街道文化の魅力为全国に発信

- ・基調講演、展示、分科会の開催
- ・開催時期:平成30年11月



市民や若手職員の政策提案を積極的に予算化・実現

○ふじえだ**ガールズ**ミーティング（女子学生まちづくり推進会議）

課題となる「若者の定着」へ、女子高生、女子大生がまちづくりを体験・研究し、若者にとって魅力ある施策を市長に提言。



テーマ：藤枝ファンの拡大



個別取組を掛け合わせ、相乗効果を発揮！

まちづくり分野	提言事項	平成30年度 実施内容	予算額
藤枝の『豊かな自然』×『美味しい』を体験・発信	「藤枝の魅力発見ツアー」の企画・開催	ガールズミーティングのまちづくり活動体験事業として企画・実施	50万円
	藤枝産食材を使った新たなスイーツ開発	ABCクッキングスタジオと連携してメニュー開発を実施(6次産業化)	400万円
女性目線の『商店街の活性化』×『SNSを活用した情報発信』	SNSでの藤枝の魅力発信	藤枝市公式インスタグラム等と連携し、情報発信を実施	ゼロ予算
	学生と商店街とのタイアップイベントの企画	地域おこし協力隊と学生との意見交換会を開催し、活性化イベントを検討	ゼロ予算
	女子が参加したい「まちゼミ」の企画	「まちゼミ」会議に学生が参加し、女子学生が参加したい「まちゼミ」を検討	ゼロ予算



○新公共経営プロジェクトチーム（若手PT）

「真に選ばれるまち・藤枝」へ、まちづくりのターゲット世代でもある若手職員の柔軟な発想や感性、情熱で市政の改革・改善につながる施策を市長に提言。



テーマ：大学を核とした新たなまちづくり
～大学と連携した地域の課題解決～



互いの強みを活かした効果的な連携で、相乗効果を発揮！

分類	提言事項	平成30年度 実施内容	予算額
若者の活力を取り入れた地域活性化事業	学生まちづくりワークショップ	連携5大学のゼミ生によるまちづくりワークショップの開催	300万円
	学生によるWeddingプランコンテスト	市認定シティ・プロモーション事業として市内結婚式場に補助金を交付	100万円
大学と連携した若者の地域定着促進事業	就職支援センターの設立	就職マッチング事業を発展させ将来的に就業支援センターの設立を検討	500万円
		学生が市内中小企業を訪問取材し企業の魅力を取りまとめ学生等に提供	100万円
大学と連携した新たな教育拠点事業	学的环境整備	連携大学から講師を招いて子育て講座を実施	50万円



「希望」と「活力」あふれる未来
に向け、**実**り多き1年にするために
に職員共々全力で頑張ります



藤枝市長

北村正平

